

天沼小だより



文責

校長 丹羽 悦子

JRC登録式を行いました

5月2日(水)の朝行事にJRC登録式を行いました。本校では、初めての取組です。青少年赤十字委員会の5・6年児童を中心に行いました。最初にJRCについて委員長の関口さんが説明し、登録を児童会長の森山さんが行いました。そして、上条さんを中心に誓いの言葉を全校児童で言いました。最後に「まわりの人のことを考えて行動できる天沼小学校にしましょう」という言葉で終わりました。天沼小学校 みんなの願いの1にある「いじめのないみんな仲良しの学校」につながる活動になりました。

JRCとは

JRCとは「ジュニア・レッド・クロス」を略した言葉です。日本語では「青少年赤十字」と呼ばれています。青少年赤十字の大原則は、「気付き」「考え」「行動する」です。140年以上も前にアンリー・デュナンが、戦いで傷ついた人々を目の前にした時、「敵も味方もない。みんな同じ人間」と叫んだ心を受け継ぎ、「世界の人々が健康で安全に協力し合いながら仲良くしていこう。」という活動です。



一年生は、鯉のぼり集会



5月2日(水)2校時に一年生の鯉のぼり集会がありました。子どもたちの手形を鯉のうろこにし、各クラスごとに大きな鯉のぼりを作成しました。ちょうど風が、ほどよく吹いていたので良く泳ぎました。

鯉は、きれいな川でも、少し濁った沼や池でも元気に育ちます。また、鯉の滝登りでも有名ですが「勢いがあること」や「鯉は竜になる」という故事から立身出世することのたとえとしてもよく使われます。一年生にとっては、とても元気の源になる鯉のぼりです。

楽しい なかよし遠足 ～はっぴい1組・2組～

はっぴいの子どもたちは、5月2日（水）に合同学習で新川公園に行きました。岩宿まで歩き、電車で移動しました。

公園では、ゲームや歌、学校紹介等を行い、他の小学校の子どもたちと交流しました。学校紹介が近づいても、皆いつもの通りしっかり前に出て笠原さんを中心に大きな声で紹介できました。

その後、お弁当タイムでは、美味しそうにたくさん食べることができました。良い経験になりました。



PTA専門委員会議の開催

5月8日（火）にPTA専門委員会議が16時より開催されました。それに先立ち14時30分からPTA第1回本部役員会議が開催されました。平成30年度のPTA活動を定める大切な会議に役員の皆様が、万障繰り合わせて来校くださいました。

子どもたちの健全な育成を図るためには、親（Parent）と先生（Teacher）が連携して、組織・団体（Association）として機能することが大切です。一年間の事業予定や引き継ぎ等実施できたことは、大きな一歩です。今後とも天沼小学校の子どもたちのためにご協力をお願いいたします。

ある日の出来事

月・木は、交通指導に出ています。ある朝、歩いて行くと大きな袋を持った男の子が、パンダの信号を待っています。遠くから見て、「図工で使う材料かな」と思い近付くとゴミ出しをしていました。「偉いね」と声をかけると「僕の仕事で、仕事をするると10円もらえるんだ」とのこと。自分で働いてお駄賃（収入）を得る、ということができているのに感心しました。仕事を与える親も素晴らしいし、がんばっている子も偉いと思いました。

現代は、難しい時代で、一昔前までの終身雇用という考え方が薄れています。働かない若者や学卒後も親と同居し、生活を親に依存している未婚者も多いと言われていています。「パラサイト・シングル」と総称するようです。小学生のうちに働いて収入を得ることを体験している子は、将来、自分で自立できる力を身に付けていくことと思います。

学校教育の中でも「キャリア教育」の推進が重要視されています。子どもたちが、社会の一員としての役割を果たすと共に個性、持ち味を最大限に発揮しながら自立して生き抜くために必要な能力や態度を育てる教育が求められているのです。学校教育の重要性を感じると共に家庭教育の力の大きさも感じる朝の出来事でした。

